

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル6月小売売上高が前月比0.4%減と、5ヶ月連続でマイナスの数字を記録したことを受け、一時3.50台半ばまでレアル売りが進行したものの、その後は方向感を失い、3.48台前半で取引を終えた。グローバルでは、中国人民銀行が11日に実施した人民元の日次基準値の算出方法変更(基準値の設定方法を前営業日のドル/人民元のスポット引け値を参照し、他通貨の需給や市場動向も加味して決定する)の余波が拡大している。中国によるこうした動きの背景としては、①中国の景気下振れリスクが高まっている中、通貨安に誘導することで輸出を押し上げ、景気を下支えする、②早期に人民元をSDR通貨バスケットに組み入れるための措置、の2点が指摘されている。この内、ブラジルへの影響という観点では、特に①に注視する必要があるだろう。人民元の実質的な切り下げは、貿易相手国の交易条件悪化を招くため、中国と関係の深い新興国通貨は一般的に売られやすい。ブラジルやインドネシア、南アフリカなどの資源輸出国は外貨収入の大部分を中国に依存していることから、今後人民元切り下げの影響が本格化するかどうか、注意深く観察することが求められる。

米ニューヨーク連銀のダドリー総裁は昨日、「金融当局は利上げを開始できる時期に近づいているものの、正確な時期は今後入手する経済データに左右される」との見解を示した。

マーケットデータ

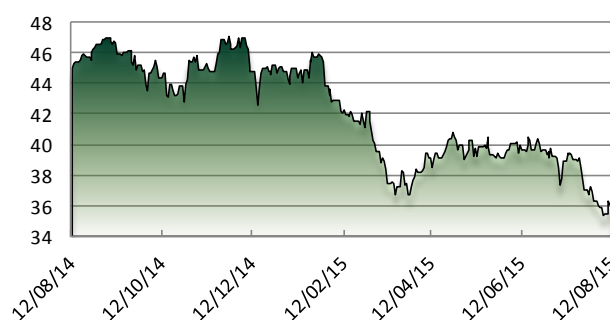
Indicator		Unit	8月11日	8月12日	前日比	7月10日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,4743	3,4808	+0,0065	3,1602	+0,3206
	対円	JPY	36,01	35,68	-0,33	38,86	-3,18
	対ユーロ	BRL	3,8373	3,8847	+0,0474	3,5237	+0,3610
円	対ドル	JPY	125,13	124,21	-0,9200	122,78	+1,4300
	対ユーロ	JPY	138,16	138,60	+0,44	136,92	+1,68
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	49.072	48.388	-684	52.591	-4.203
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	310,4	305,0	-5,4	256,8	+48,2
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	13,59	13,49	-0,10	12,60	+0,89
DI Future Oct16 (金利先物)		%	14,20	14,09	-0,11	13,80	+0,29
3 Months US Dollar Libor		%	0,314	0,309	-0,005	0,286	+0,023
CRB Index (国際商品指数)		Index	199,3	198,9	-0,4	218,3	-19,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。